

森のおくりもの8月



オニヤンマ（オニヤンマ科）



南米原産のアリが連日ニュースに取り上げられています。一方、日本にもともとすんでいる生物にもハチ、ヘビなど危険な生物はたくさんいます。彼らは、日本の自然を構成してきた一員なので、取り除いてしまうと生き物たちのバランスが崩れてしまいます。ヒトもその一員として、つき合い方を知って自然を楽しみましょう。

【写真・文 早坂 徹】

# 大きくて力強い、特別感漂う 「オオムラサキ」



7/19の昼間、センター前のエノキにいたオオムラサキが無事に羽化しました。お腹が大きなメスができました。翌朝まで同じ場所にくっついていましたよ。19時間も同じところにいるなんて！羽が固まるまで時間がかかるのでしょうか。

## さなぎ

■本当に上手く周りの葉に似せて、かくれているので、場所を覚えないとここにいるってわかりません。

## 終齢幼虫

■顔はとてもキュート♡  
葉に顔をペタッとくっつけた姿勢でいることが多いので、エノキの葉を食べる為にウロウロしているときに顔をみるチャンス。あちこち移動してモリモリ葉を食べていましたよ。

■背中突起は4対ある  
(3対だとゴマダラチョウ)

## 成虫

■メスの成虫  
お腹にはもう卵が入っています。  
(産卵は交尾してから行います)  
今月、きっとどこかで産卵してくれるでしょう。

■出てきた蛹の殻

## 越冬幼虫

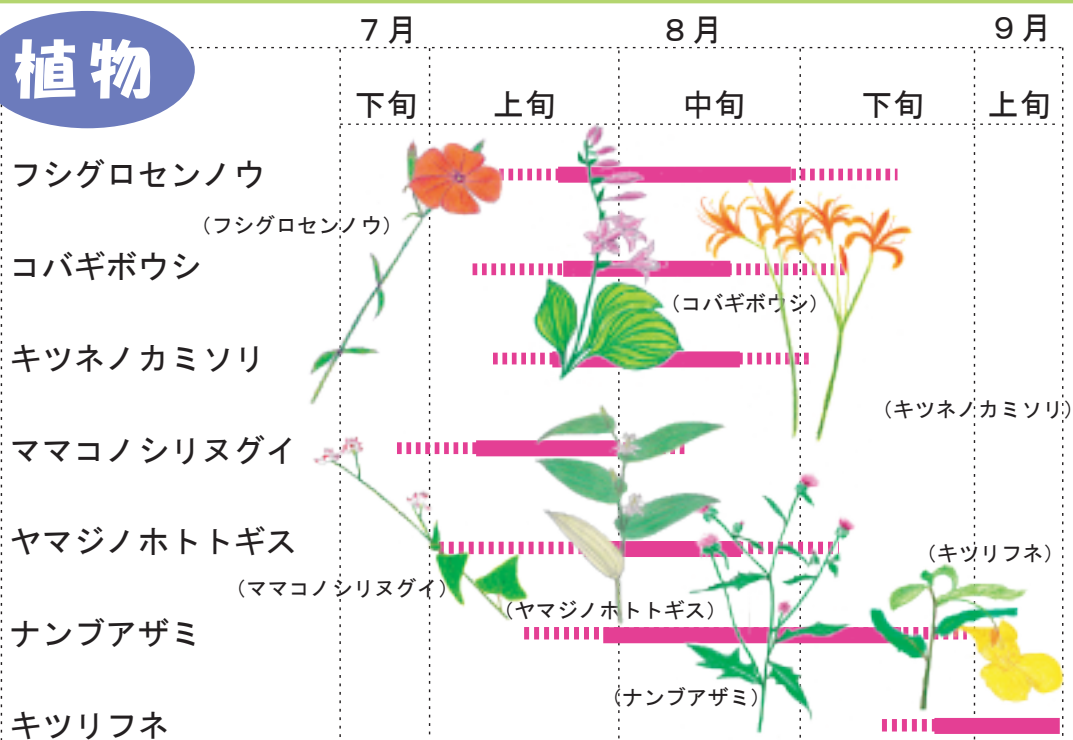
■落ち葉にくっついて、何も食べずに寒い冬をやり過ごします。

「オオムラサキにどこで会えるの?」といった質問を受けますが、このチョウが行きたい所はきっと樹液のあるところですよ。甘酸っぱい匂いを頼りに探してみてください。また、暑いですが山頂へいくと、アゲハの仲間などと同じく、オオムラサキも飛んできます。バサバサと力強い羽音と、樹液の出ている木の周りをグライダーのように滑空する雄大な姿を目にすることができるかもしれませんよ。

【レンジャー：黒川周子】

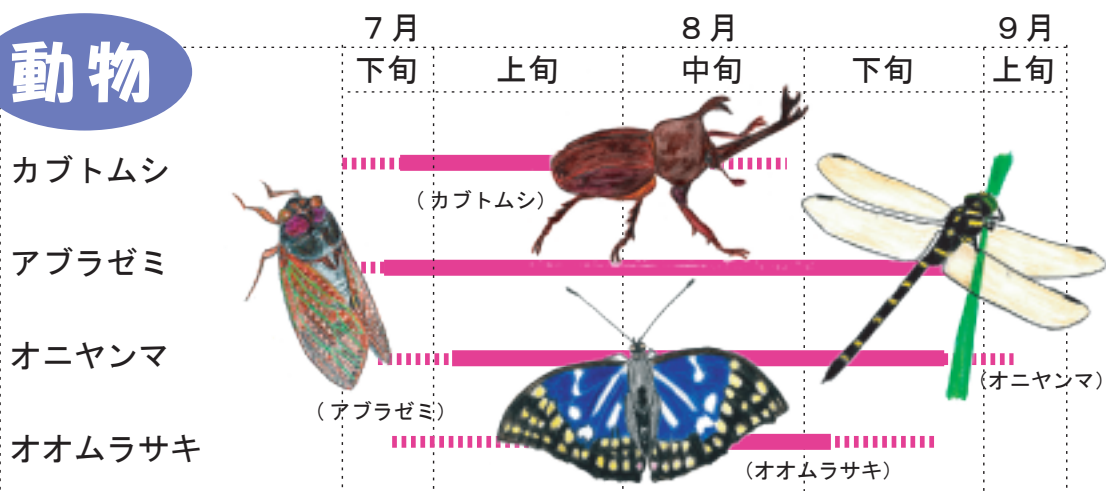
# 8月の生物ごよみ

## 植物



静かだった森も今ではセミの鳴き声が響き、とても賑やかな森に変わりました。セミの寿命のイメージは短命に思われがちですが、幼虫の期間を合わせると、とても長寿な昆虫です。この季節は抜け殻も容易にみつき、抜け殻を調べることによって種類や性別まで知ることが出来ます。観察の森では『抜け殻検索表』を用意しているので、この時期に是非調べてみましょう。

## 動物



【レンジャー：齋 正宏】



## レンジャーの森の雑記帳



夏のむっとした甘い吐息のような或る日のこと、園内で偶然に葉っぱの上のテントウムシに出会いました。私が子どもの頃の曖昧な記憶でも、テントウムシは手に乗っても刺したり噛んだりしない優しく可愛らしい虫です。そのあまりにも<sup>あで</sup>艶やかなテントウムシの黒い前羽に見惚れてカメラを向け画像を確かめると、驚くことにテントウムシの黒い<sup>しっき</sup>漆器のような前羽に、カメラを構える私自身がはっきりと映りこんでいたのです。生きていた小さな生命に私の一瞬が投影され交錯した瞬間でした。不思議なうれしさのような感覚を覚えました。それはちいさなテントウムシが私の存在を認めて鏡のように示してくれたからかもしれません。黒い瞳のようなテントウムシの前羽は<sup>きら</sup>煌めく夏の陽光を反射させながら、ミルク色の霧や、重量感のある夏の白い雲を、命のある限りに森の様々な事象も写し出すのでしょうか？あるテントウムシは夏の暑さを避けて樹々の葉の裏側で強い陽射しを避けて<sup>かみん</sup>夏眠という長い休眠に入ります。森の生物や植物たちも夏を思う存分に享受して成長していきますが、仙台も七夕が終わると少しずつ秋の気配が忍び寄ってきます。



照りつける夏の  
日射しもいつし  
か懐かしく思え  
る時期がやがて  
やってくると想  
うと、テントウ  
ムシと知り合っ  
た瞬間そのもの  
が一期一会のよ  
うな気がしまし  
た。

【レンジャー：阿部正明】

季節を感じて楽しむ

## 森の七十二候

第5回



お盆の夕暮れ、お墓参りに行くと必ず聞こえてくるのがヒグラシの鳴き声です。どこか物悲しカナカナカナという鳴き声は、先祖の霊を迎えるお盆の儀式にぴったりのBGMではないでしょうか。

セミは枯れ枝の隙間に卵を産みます。ヒグラシは、2か月ほどでふ化し、幼虫は土の中にもぐって木の根から樹液をすって成長します。3年たって地面に出る抗道を掘り、梅雨のある日の夕方から夜にかけて、幼虫は抗道から出てきます。やがて木の幹や枝、葉の裏などにつかまり羽化を始めます。殻からでたばかりのセミはエメラルドグリーンの透明な羽がきれいで神秘的です。



# 寒 蝉 鳴 く

ひぐらしまるしなぐ

8月12日から  
16日ごろ



観察の森で今年ヒグラシの鳴き声を確認できたのが7月6日です。例年梅雨が始まる頃に鳴きだします。7月初旬はまだ日が長いので、19時頃にならないと聞けなかったのですが、最近はずっと曇っていれば昼間でも鳴いています。ヒグラシが鳴くのは夕方のイメージですが、実は明け方にも鳴きます。早起きが苦手な私は聞いたことがありませんが・・・ちょっと薄暗い感じが鳴きたくなるみたいです。日が暗い→日暗し→ヒグラシ やはり名前のお通りですね。

森の観察路を歩いていると、近くで「ギィ」とけたたましい声をあげて飛んでいくヒグラシに何度も出くわします。とても臆病なのでしょう。それより臆病なのが、毎回それにビクッと驚いてしまう私かも。

【レンジャー：遠藤和子】

# 8月

## のイベント & お知らせ



### ◆『キッズ昆虫たんけん隊』

8月12日(土) 10:00 ~ 12:00

・昆虫を捕まえ、スケッチして、じっくり観察をします。

【定員】15名(小学生)

【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・カップ  
帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】8月6日(日)午前9時から  
電話で受付〔先着〕



### ◆『虫のいどころ』

8月19日(土) 10:00 ~ 11:30

・昆虫の専門家と共に、真夏の森で虫のいどころを探ります。

【定員】20名(どなたでも)

【料金】無料

【持ち物】長袖長ズボン・カップ  
帽子・虫よけ・飲み物など

【申込み】8月8日(火)午前9時から  
電話で受付〔先着〕

### ◆『虫と遊ぼうin七北田』

8月26日(土) 13:00 ~ 16:00

・昆虫を捕まえ、蚊帳の中に放し遊びます。※雨天の場合は27日

【会場】泉区七北田公園

(泉区民祭り会場)

### ◆『夏休み！生き物相談室』

・自由研究、生き物の名前調べなどレンジャーに相談してみませんか

【期間】8月31日(木)まで

【対象】小・中学生

※事前に電話予約が必要です。

毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日！

テーマ：夏の人気者たち

8月の開催日は6日、13日、  
20日、27日(午前は「館長と森を歩こう」)

開催時間：10:00~11:30  
13:30~15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



森のちいさな  
アトリエ

準備してある材料を使って、  
誰でも自由にクラフトが作れます。

木のぬくもり  
ネームストラップ



ヤマツツジの丘から  
ヨシの湿地へ通じる  
橋が老朽化のため、  
しばらくの間通行  
止めになります。

### 8月の休館日

7日、14日、  
21日、28日

### ♪森へおいでください♪

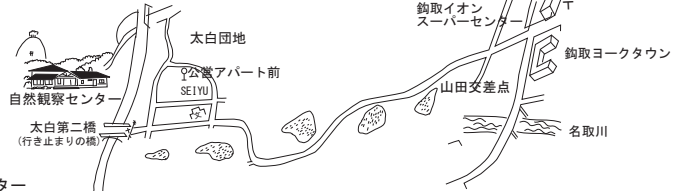
#### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分

【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)  
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分

#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック！

2017年8月号(毎月1回5日発行)

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>